

波 動



2019年（平成31年）

1月21日（月）

第 63 号

トライやる・ウィークに向けて、取り組みを始めます。

トライやる・ウィークは、いつ、なぜ始まったの？

平成7年1月17日に阪神・淡路大震災が発生しました。甚大な被害をもたらしましたが、命や人権を尊重する心、ボランティア精神、地域の人々と共に生きることの大切さなどを学ぶ機会にもなりました。また平成9年に神戸市須磨区で痛ましい事件が発生し、人としての在り方、生き方を考え、社会生活上のルール、倫理観、善悪の判断、自己責任の自覚、自律・自制など「心の教育」の大切さを深く考える契機となりました。兵庫県では、これらの体験をきっかけとして、中学生のみんな一人一人が自分なりの生き方を見つけられるよう、平成11年から地域の人々と交流をしながら、多様な生活体験、自然体験、社会体験を通して学ぶ活動を開始しました。みんなの活動で21年目になります。

トライやる・ウィークの活動について

○トライやる・ウィークは、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動し、よりよく解決する資質や能力を養うために行います。そのために家庭で家族の絆を強めることを基盤に、異年齢の子どもたちや地域の人たちと交流し、豊かな人間関係を築くことが必要です。

○将来、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させるための、力を養うきっかけとなるような活動が大切です。

○自分の生き方を選択する力を身につけていくために、家庭を含めた地域社会が一人一人の個性をかけがえのないものと認め、意識を向上させ、評価し創造していく活動にしなければいけません。

○体験を中心とした学習を通して、生き方を考えたり、自分で判断して行動し問題解決する姿勢や多様な価値観を認める心を育てることが大切です。

○学校と地域との交流を行い、地域とのコミュニケーションを深める活動です。

○活動を通して、家族との絆を深め、豊かな情操、他者に対する思いやり、基本的な倫理観など人間性の基本的な資質を培うことが必要です。



トライやる・ウィークに向けて これからの予定

平成31年度（2019年度）トライやる・ウィーク実施期間（元号は変わります）

6月3日（月）～7日（金）

1月22日（火）・事業所決定に向けてアンケート実施

・県市関連施設の希望調査開始

・トライやる・ウィーク参加申込票配布 締め切り1月31日（木）

1月22日（火）6校時総合 冬休み課題「職業調べ」クラス発表会

→終了後 統計調査、掲示

2月上旬 ・県市関連施設 校内調整→2月19日 市内調整→3月上旬最終決定

2月下旬 ・錦城中学校関係事業所希望調査

3月3学期終了までに 全生徒活動事業所決定

5月 ・トライやる・ウィーク保護者説明会（日時の詳細は後日お知らせします。）

5月下旬 ・各事業所訪問（お世話になる事業所に生徒本人があいさつに行きます。）

5月31日（金）トライやる・ウィーク 事前指導

6月3日（月）～7日（金）トライやる・ウィーク実施

6月10日（月） ・トライやる・ウィーク 事後指導

7月上旬 ・トライやる・ウィーク 発表会

※日程が決定していない所は、決定次第お知らせします。

※自分でトライやる・ウィークの活動場所を決定する事も可能ですが、トライやる・ウィークの趣旨を理解していただいて、活動を実施していただける所をお願いします。

職業を選ぶ基準には三つあるといわれます。それは「美・利・善」です。それぞれどんな意味でしょう。「自分が好き⇒美、得⇒利、社会に貢献できる⇒善」です。3つそろった仕事に就くことは、誰にとっても理想です。しかし現実にはみんなが考えているほど甘くありません。はじめから希望通りの理想の職業につける人は限られているのです。思いもかけないような仕事をしなければならない事の方が多いのです。

「生活ができて社会の役に立つが、自分にはどうしても向かない仕事（利はあるが美がない）」

「好きで人の役に立つ仕事でも食べていけるほどの収入がない（美と善があっても得がない）」

「もうかるし好きな仕事だが、社会には迷惑がかかる（利と美はあるが、善ではない）」

このように、現実には三つの価値がなかなかそろわないものです。

それではどうすればいいのでしょうか。それは、嫌な仕事についてたとしてもへこたれないことです。逃げないことです。努力を重ねていくうちに「三つの価値」が得られる仕事に必ず到着できるのです。その時、振り返るとそれまでやってきた苦労が、一つも無駄になっていなかった事に気づき、貴重な人生の財産になっていることでしょう。苦労や大変な事、全て意味があったとわかることでしょう。

